

令和 4 年度

事業報告書



社会福祉法人 高 和 会

令和4年度事業実績報告書

社会福祉法人 高和会

年月日	記 事	
令和4年4月1日	<p>令和4年度 役員構成</p> <p>理事：定数 6 名</p> <p>理事長：高見 和嗣郎 理事：甲斐淳一、木山誠 日高省三、新田寿則 山本直樹</p> <p>評議員：定数 7 名</p> <p>松田俊介、黒木元吉、花畑途人、久峯正経 池田拓二、古谷栄一、柳田幸男</p> <p>監事：定数 2 名 藤本博明、井上敏彦</p>	<p>令和5年3月31日現在</p> <p>理事：定数 6 名</p> <p>理事長：高見 和嗣郎 理事：甲斐淳一、木山誠 日高省三、新田寿則 山本直樹</p> <p>評議員：定数 7 名</p> <p>松田俊介、黒木元吉、花畑途人、久峯正経 池田拓二、古谷栄一、柳田幸男</p> <p>監事：定数 2 名 藤本博明、井上敏彦</p>

1. 会 議

(1)理事会・評議員会・監事監査・評議員選任・解任委員会

令和4年6月3日

ア 監事監査
 (ア)時 間 10:00～12:00
 (イ)場 所 はまゆう園会議室
 (ウ)出席者 監事： 2 名
 理事長、事務局理事 2 名
 (エ)内 容 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。また、理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しは定款に違反する重大な事実は認められない。
 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認める。

令和4年6月12日

イ 第1回 理事会
 (ア)時 間
 (イ)場 所 【 書面決議による 】
 (ウ)決議同意者 理事：6名 監事：2名
 (エ)議 題 決議事項
 第一号議案 令和3年度高和会事業報告書(案)について承認を求めるもの
 第二号議案 令和3年度高和会決算報告書(計算書類・財産目録・附属明細書)(案)等について承認を求めるもの
 第三号議案 相談支援事業所分所の開設について承認を求めるもの
 第四号議案 評議員会への提案の件
 上記議案の承認について、議案書の通り開催することを各評議員に提案するもの

年月日	記 事
令和4年6月24日	ウ 第1回（定時）評議員会 (ア)時 間 10:00～11:55 (イ)場 所 はまゆう園会議室 (ウ)出席者 評議員：7名 理事：3名 監事：1名 (エ)議 題 決議事項 第一号議案 令和3年度高和会決算報告について
令和4年10月13日	エ 第2回 理事会 (ア)時 間 10:00～11:00 (イ)場 所 はまゆう園会議室 (ウ)出席者 理事：6名 監事：2名 (エ)議 題 決議事項 第一号議案 定款変更について 第二号議案 日中サービス支援型共同生活援助への移行について 第三号議案 グループホーム新築に係る指名競争入札参加業者の選定について 第四号議案 あげぼの荘 運営規程の変更について 第五号議案 令和4年度 臨時評議員会の開催について
令和4年10月21日	オ 第2回（臨時）評議員会 (ア)時 間 10:00～10:30 (イ)場 所 はまゆう園会議室 (ウ)出席者 評議員：6名 理事：3名 (エ)議 題 決議事項 第一号議案 定款変更について
令和5年2月24日	カ 第3回 理事会 (ア)時 間 10:00～11:00 (イ)場 所 はまゆう園会議室 (ウ)出席者 理事：5名 監事：1名 (エ)議 題 決議事項 第一号議案 職能資格規程（キャリアパス表含む）の制定について 第二号議案 グループホーム第1あさひ荘増改築工事に係る指名競争入札参加業者の選定について 第三号議案 役員等賠償責任保険契約（更新）について 第四号議案 はまゆう園施設長並びに関連事業所管理者の任免について 第五号議案 令和4年度臨時評議員会の開催について

年月日	記 事
令和5年2月24日	キ 第3回 (臨時)評議員会 (ア)時 間 13:30 ~ 14:00 (イ)場 所 はまゆう園会議室 (ウ)出席者 評議員: 7名 理事: 3名 (エ)議 題 報告事項 はまゆう園施設長並びに関連事業所管理者の任免について
令和5年3月28日	ク 第4回 理事会 (ア)時 間 10:00 ~ 11:40 (イ)場 所 はまゆう園会議室 (ウ)出席者 理事: 6名 監事: 2名 (エ)議 題 決議事項 第一号議案 定款変更について 第二号議案 就業規則の変更について 第三号議案 令和4年度 高和会 関連事業の補正予算(案)について 第四号議案 令和5年度 高和会 関連事業の事業計画(案)について 第五号議案 高和会 関連事業の当初予算(案)について 第六号議案 臨時評議員会の開催について
令和5年3月28日	ケ 第4回 (臨時)評議員会 (ア)時 間 14:00 ~ 14:30 (イ)場 所 はまゆう園会議室 (ウ)出席者 評議員: 5名 理事: 3名 (エ)議 題 決議事項 第一号議案 定款変更について

令和4年度事業実績報告書

社会福祉法人 高和会

[職員配置]

事業所名	令和4年4月1日			令和5年3月31日		
	正職	臨時・パート	合計	正職	臨時・パート	合計
障害者支援施設 はまゆう園	49名	45名	94名	49名	47名	96名
はまゆう園多機能型事業所	9名	8名	17名	10名	7名	17名
はまゆう園多機能型恒富事業所	6名	5名	11名	7名	4名	11名
はまゆう園生活介護恒富事業所	12名	11名	23名	13名	11名	24名
グループホームあけぼの荘	13名	35名	48名	15名	38名	53名
サポートセンターはまゆう	2名	2名	4名	2名	2名	4名
のべおか障害者就業・生活支援センター	2名	2名	4名	3名	1名	4名
延岡市西部地域基幹相談支援センター	1名	2名	3名	1名	2名	3名
合計	94名	110名	204名	100名	112名	212名

令和 4 年度 障害者支援施設はまゆう園 事業報告書

施設入所 定員90名 現員 91名

短期入所 定員12名

生活介護 定員80名 現員 79名

日中一時支援

令和 4 年度 障害者支援施設はまゆう園 施設入所支援利用者(実人数)												
年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用可能上限(人)	2,835	2,929	2,835	2,929	2,929	2,835	2,929	2,835	2,929	2,929	2,646	2,929
実利用者数(人)	2,773	2,881	2,736	2,848	2,859	2,773	2,831	2,759	2,846	2,742	2,472	2,769

令和 4 年度 実利用者数計 33,289人 ※実利用者数 前年度比較 -992人

利用者平均年齢

男性 52 歳 平均支援区分 5.88 最高齢 82 歳 最年少 24 歳

女性 54 歳 平均支援区分 5.88 最高齢 88 歳 最年少 24 歳

男女 53 歳 平均支援区分 5.88 強度行動障害対象者 65 名

令和 4 年度 障害者支援施設はまゆう園 短期入所利用者(実人数)												
年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(人)	108	126	102	92	58	68	106	118	81	70	70	84

令和 4 年度 実利用者数計 1,083人 ※実利用者数 前年度比較 +211人

長期で短期入所を利用していた利用者様1名が3月1日付で施設入所へ移行。

外部からの問い合わせも多くあったが感染症防止のため利用対象者を法人内事業所利用者様に限定。ただし行政機関からの利用者様の保護を目的とした利用依頼により新規を受け入れたケースがあった。

令和 4 年度 障害者支援施設はまゆう園 生活介護利用者(実人数)												
年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(人)	1,768	1,874	1,763	1,836	1,848	1,775	1,842	1,778	1,863	1,783	1,545	1,777

令和 4 年度 実利用者数計 21,452人 ※実利用者数 前年度比較 -625人

日中一時支援 令和 4 年度 実利用者数 1名 実利用日数 1日

*前年度実績 実利用者数 1名 実利用日数 2日

1 基本事項について

社会福祉法人高和会職員として「基本的理念」「倫理規程」「職員行動規範」を遵守し、意識や知識の向上が成されるよう、職員それぞれが研修への参加や資格取得など自己研鑽に励んだ。また、人権擁護委員会を中心にした障害者差別解消法や障害者虐待防止法の研修を開催し、全職員で知識を深めることができた。支援現場においても、利用者個々が自己選択・自己決定が出来るよう、より分かりやすい手法(視覚的情報)を用い工夫を行った。

その他、実習生の受け入れについては、宮崎学園短期大学からの「保育実習」を4名、九州保健福祉大学からの「ソーシャルワーク実習Ⅰ」を1名受け入れた。新型コロナウイルスの影響によりプログラムの変更を余儀なくされたが、5名とも規定カリキュラムを終了することができた。また、地域との交流については、同じく新型コロナウイルス感染症予防対策のため、施設の外に出での活動が限定され交流するには至らなかった。

2 入所支援

(1)施設入所(定員90名) 現員91名 (令和4年度3月末時点)

令和4年度については、入所施設としての原点に立ち返った令和3年度を引継ぎ、基本である衣・食・住への支援強化を維持し当り前の日常生活を支えていく事を重点的に支援した。また、はまゆう園における部屋という最小ユニットと部屋担当との関わりを活かし、利用者との関係構築と併せて保護者との信頼関係を構築し支援を進めた。

●入院利用者	病 気 等 での 入 院	8名
	精 神 的 ケア の 入 院	2名
	ケ ガ 等 での 入 院	1名

●退園者数	2名
-------	----

6月30日をもって退園(入院継続)

12月28日をもって退園(自宅復帰)

●逝去利用者数	4名
---------	----

6月15日、入所利用者様が、平田東九州病院で逝去。

1月6日、入所利用者様1名が、はまゆう園どりーむ棟で逝去。

2月8日、入所利用者様1名が、平田東九州病院で逝去。

2月17日、入所利用者様が延岡医師会病院で逝去。

●新規契約者数	1名
---------	----

3月1日に1名(短期入所からの移行入所)

(2)生活介護(定員80名) 現員79名 (令和4年度3月末時点)

利用者様が主役であることを念頭に、個々の個性と能力を伸ばし、楽しみの持てる活動を重視し、1年間の事業を行った。生活介護と施設入所の担当を一元化する事で共有する場面を多く設け、絶え間ない支援がなされるように努めた。またリハビリ部門と連携しながら利用者様の身体機能の維持に努めるとともに、リハビリの技術を日常的な活動場面に生かせるよう協同して支援を行った。

習字教室、お茶教室については、はまゆう園職員が講師役を務め実施、生け花教室については、感染症の状況を見極めながら講師を招き実施し支援を図った。園内行事や活動においては前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症・予防対策、台風14号の北方町への被害を鑑み規模を縮小するに至った。春の遠足、運動会、ビアガーデン、さわやか会（敬老会）、はまゆう園内文化展、クリスマス忘年会等を利用者と職員とで開催した。

その他、コロナによる制限はあったものの、できる範囲で利用者様と共に奉仕活動を実施する事で社会参加と地域貢献を図った。

感染状況を見ながらであったが、以上の様な日中活動を展開する事により、利用者様の楽しみに繋がり、笑顔のあふれる活動が展開された。

(3) 自治活動

自治会選挙を実施し利用者様の投票により自治会役員を3名選出。

月1回の各棟別での自治会話し合い、毎月の自治会役員による自治会役員会を開催。日々の生活や各行事への意見交換や要望・意見を聞き、自治会役員会議で話し合い、利用者様の意見が行事や日々の生活に反映されるよう努める事で自治活動の充実を図った。

(4) 保健

はまゆう園の公衆衛生を含め、利用者様の健康管理、予防と疾病の早期発見に努めて支援部などと連携を図った。また、各種検診（身体測定・胃がん検診・結核検診・心電図・内科検診・乳がん検診・子宮がん検診 など）を実施し、医学的見地に基づいた疾病の早期発見、健康状態の把握を行った。また、職員研修として延岡消防署から講師を招いての救急法研修の開催、新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種（4回目：令和4年7月31日 5回目：令和4年12月21日）の実施を行った。

(5) 給食

食事については、はまゆう園多機能B型事業所で生産された新鮮な野菜を使用。同様に、各業者へも新鮮な食材の納品を依頼しながら、利用者様の嗜好や身体状況に合わせた食事を管理栄養士の指示のもと準備提供を行った。また、高齢化する利用者様の嚥下機能に合わせて、主食である白米については、普通食、軟飯食、粥食、トロミキサー食に、おかずについては、普通食、一口大、刻み食、極刻み食と、ミキサー食と分けて食事を準備する事で、出来る限り安全に経口摂取が出来るよう図った。また、施設長、事務長、多機能所長、入所部サビ管、支援主任、保健主任、管理栄養士、厨房職員にて、毎月1回の給食委員会を開催する事で、利用者様が安心して美味しく食事が出来るよう意見交換を行いながら事業展開を図った。

(6) 専門部

リハビリについては、理学療法士（PT）・作業療法士（OT）により、はまゆう園入所部・多機能部の対象利用者様に対し、理学療法士と作業療法士の立場の違うリハビリスタッフの視点に基づき、利用者様の身体能力の向上に努めた。保健担当を含む支援部職員と月に1度のリハビリ会議を実施し、利用者様の身体機能の維持と現状の把握、日常生活の中で生かせるリハビリの技術を共

有し支援の充実を図った。

防災・防犯については、防災会議を毎月実施。総合防災訓練を年2回実施。その他、新任職員対象とした防災新任研修、全職員を対象とした研修、夜勤専門職員への防災研修を実施して、防災への知識と意識の向上を図った。

人権擁護委員会については、担当職員による毎月1回の会議を実施。虐待防止に関する研修会については、宮崎県の出前講座を利用して障害者差別解消法と障害者虐待防止法について全職員と夜勤専門職員へ研修を実施、学びを深めた。

ヒヤリハット委員会については、はまゆう園園内での利用者様の生活の安全が図られるよう意見を集約。特に名前の挙がることの多い利用者様や時間帯、場面の分析を行うとともに全職員へ周知を行い共通認識を持つことでけがや事故に至らないよう努めた。

衛生委員会については、毎月1回の担当職員会議を開催。また、ストレスチェックの実施や、産業医を招いての衛生委員会開催や職員面談を行い、働きやすい風通しの良い職場構築に努めた。

令和4年度事業実績報告書

[保健実績]

社会福祉法人 高和会

年月	検診名	事業名	男性	女性
令和4年4月	採血(精神科)	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型) 生活介護恒富事業所	35名 6名 2名 4名	30名 4名 2名 2名
令和4年5月	採血(内科)	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型)	19名 10名 6名	10名 6名 2名
令和4年7月	乳癌検診	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護)		12名 4名
令和4年8月	子宮癌検診	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護)		12名 2名
令和4年9月	大腸癌検診	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型)	35名 6名 7名	24名 5名 4名
令和4年10月	肝炎ウイルス検査	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護)	1名 1名	1名 1名
令和4年10月	胃がんリスク検査	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型)	4名 1名 1名	4名 1名 1名
令和4年10月	前立腺癌検診	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型)	19名 4名 3名	
令和4年10月	採血(精神科)	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型) 生活介護恒富事業所	33名 6名 2名 4名	28名 4名 2名 2名
令和4年11月~12月	インフルエンザ 予防接種(混合型)	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型) 生活介護恒富事業所	53名 15名 7名 4名	38名 9名 4名 2名
令和4年11月	胃がん検診	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型)	0名 0名 1名	1名 0名 0名
毎月1回(年12回)	精神科医師往診	はまゆう園 多機能型事業所(生活介護) 多機能型事業所(B型) 生活介護恒富事業所	33名 6名 2名 4名	30名 4名 2名 2名
令和4年度	入院者	はまゆう園	11名	4名
	内手術に至った人	はまゆう園	0名	1名
入院期間	利用者の年齢及び性別	入院先医療機関	病名及び症状	
3/24~4/2	55歳(男性)	黒木病院	麻痺性イレウス	
3/23~6/15	24歳(女性)	田中病院	統合失調感情障害(薬調整)	
3/29~4/22	81歳(男性)	延岡医師会病院	誤嚥性気管支炎、急性腎盂腎炎	
4/5~3/31	60歳(女性)	田中病院	てんかん(拒食伴う薬調整)	
6/1~6/15	80歳(男性)	平田東九州病院	右脳梗塞、誤嚥性肺炎(死亡退院)	
6/12~6/13	52歳(男性)	県立延岡病院	上部消化管出血	
7/23~8/22	68歳(男性)	県立延岡病院	COVID-19肺炎、誤嚥性肺炎	
6/19~7/4	55歳(男性)	黒木病院	麻痺性イレウス	
9/21~10/4	74歳(男性)	延岡医師会病院	嘔吐症	
10/2~10/12	55歳(男性)	黒木病院	麻痺性イレウス	
10/5~10/26	67歳(男性)	延岡共立病院	誤嚥性肺炎、結腸拡張症	
10/13~1/23	25歳(女性)	田中病院	統合失調感情障害(薬調整)	
~1/6	74歳(男性)	当施設	老衰にて看取りをおこない退所となる	
1/4~1/20	57歳(女性)	谷村病院	左大腿部頸部骨折	
1/4~2/17	55歳(男性)	延岡医師会病院	COVID-19肺炎、上部消化管出血(死亡退院)	
1/6~2/8	72歳(男性)	平田東九州病院	COVID-19肺炎(死亡退院)	

令和 4 年度 はまゆう園多機能型事業所 事業報告書

(生活介護事業・就労継続支援B型事業)

1. 事業概要(令和5年3月31日現在)

生活介護事業(定員30名)(現員42名:内入所利用者13名)

就労継続支援B型事業(定員10名)(現員12名:内グループホーム生10名)

職員 所長(サービス管理責任者兼務)1名

生活介護事業: 支援員10名、運転手3名

就労継続支援B型事業: 支援員3名(内1名目標工賃達成指導員)

支援重点事項

- ① 利用する方々が自立した日常生活や社会性を身に着ける事が出来るよう、サービスの充実を図る
- ② 職員の資質の向上
- ③ 安全な送迎に努める

【生活介護事業実績報告】

利用者の皆様が個性豊かに生き生きと過ごせるように多くのメニューを用意した。

- ・ 作業「作物作り(大根・人参・ネギなど)、園内の花壇管理、段ボール出荷、枯葉収集など」
- ・ 社会参加活動「季節の取り組み、買い物、喫茶、地域の清掃など」
- ・ 創作・文化活動「絵画、カラオケ、季節の取り組み、収穫祭展示物作成など」

<その他>

- ・ 作業療法士・理学療法士によるリハビリ(8名)
- ・ 看護師による定期受診、健康チェック
- ・ 給食の提供(特別食なし)
- ・ 入浴支援(5名)

【就労継続支援B型事業】

- ・ 農作業「椎茸、大根、里芋、山芋、ジャガイモ、生姜、葱、玉葱、レタス、キャベツ、ゴーヤ、キュウリ、ホウレン草、人参、ピーマンなど」
- ・ 耕地面積(園前の畑・下崎の畑)⇒約1ヘクタール・椎茸コマ(3万5千個)
- ・ 農福連携作業「サフラン・山本農園様・スローライフトゥ様」個人宅からの除草作業の請負作業
- ・ 請負契約「延岡市北方閉校施設・教員住宅回りの除草作業」
- ・ 本年度の平均工賃 15,146円

法人全体の活動として「春の遠足」「体育祭」「ビアガーデン」「集団検診」「防災訓練」を実施

※ 事業を利用する利用者様は、登園時間に遅れることなく、楽しく参加することができている。

2. 職員の研修について

○「虐待防止の研修、救急法の研修」を実施。

3. 送迎について

生活介護事業は、専属運転手3名でバス2台。園出発「朝7:25、夕15:40」

就労継続支援B型事業は、職員運転でボンゴ車1台。園出発「朝7:30、夕16:00」

1年を振り返って

送迎においては事故もなく、安全に送迎する事はもちろん、ご家族との大事なコミュニティーの場として意識し業務に取り組んでまいりました。また、毎月のお知らせとして「多機能からこんにちは」を毎月発行する事で、多機能型事業所での日々の様子や、次月の活動予定を伝え、利用者と保護者の皆様が、はまゆう園での出来事や楽しみを共有できるよう図る事で、安心と楽しみを持って、はまゆう園に登園できるよう努めてきました。

結果として、利用者ご家族様共に皆様の元気な笑顔と活気あふれる1年となりました。

B型の事業においては、農福連携事業や請負作業など地域の方にとって必要な事業所になるよう事業運営を図ってきました。また、利用者様と共に地域のニーズに応える事で、社会貢献の場となるよう努めてきました。利用者様には、満足感と達成感が得られ良い刺激になったと思います。収益につきましては、県内平均工賃には届きませんでした。利用者様の平均年齢56歳という現状体制の中では、利用者様の生きがいとしての労働と情緒の安定という面では、はまゆう園多機能型B型事業所としての役割を十分に達成できたのではと思います。

令和 4 年度 はまゆう園多機能型恒富事業所 事業報告書

○事業概要

【就労移行支援】

定員	6 名	現員	6 名
----	-----	----	-----

【就労継続支援B型事業】

定員	30 名	現員	37 名
----	------	----	------

【職員】

所長	1 名	就労定着支援員	1 名	目標工賃達成指導員	1 名
サビ管	1 名	生活支援員	3 名		
就労支援員	1 名	職業支援員	2 名		

【工賃】

令和 4 年度	16,624 円/月	宮崎県目標工賃	21,800 円/月
---------	------------	---------	------------

○活動報告

【就労移行支援事業】

年度内 3 名の就労を目指し、障がい者就業・生活支援センターや相談支援専門員等と連携しながら活動してきました。結果として就労実績としては 4 名達成しました。

※就労先 ダイソー 1 名、ひえいの郷 1 名、延岡市役所(ワークステーション) 2 名

【就労継続支援 B 型事業】

業務請負先	<ul style="list-style-type: none"> ・延岡市役所管財課、駅まち振興課、都市計画課 ・第一環境管理(ふなの湯、ポリテクセンター、看護学校) ※看護学校毎週月～土まで(祝祭日除く)R5.3 末にて請負契約終了予定。 ・サングリーンハウス ・延岡市社会福祉協議会 ・高橋水産 ・みやはら介護保険企画 ※みやはら介護様の都合にて清掃請負業務令和 5 年 4 月末にて終了。 ・社会福祉法人 真雅 えのたけ ※毎週月、水、金、土の終日 R5 年 3 月末にて請負契約終了。 ・その他 ふすま、障子、その他個人、会社請負等
-------	---

主な取り組みとしては、清掃作業をメインとした請負作業に取り組んできました。結果としてコロナ対応などでやむを得ず作業自体を休んだケースもありますが、大幅な減少もなく全体的には昨年並みの収入を維持する事ができました。利用者様の稼働については出勤停止もあり、支援費自体は減少見込みとなっています。支援の困難事例として、突発的に自傷他害行為をする方への対応、情緒不安定な方への対応など苦慮する部分が増えています。精神障害、発達障害の方々への支援方法については、何が原因かみんなで考え、知識、経験から意見を出し合い、関係機関を含めた総合的な支援が必要となっています。

【職員研修及び実習受け入れ】

2022年度の職員研修については、ウェブ会議、DVD、ユーチューブ研修をメインに開催、徐々にコロナ禍での様式に移行され、戸惑いもありながらも研修に参加してきました。研修に参加した方は後日に会議や朝終礼時に報告をしていただき、職員間で情報共有してきました。

実習等の受け入れについては、支援学校をメインに感染症対策を行いながら受け入れを実施してきました。事業所の取り組みを紹介することや、支援学校の生徒さんと接することで、事業所にとっても生徒さんたちにとっても良好な関係性を築くための絶好の場となっています。

【その他の活動】

当事業所のメイン請負である清掃作業については、基本を忘れないためにも歩一歩同友会などを利用し、業者を招いての清掃研修（座学、実技など）を実施しています。

令和4年度 就労定着支援事業 ワンステップ事業報告

○活動報告

就労定着支援 現員 4名

・ドラッグストア店員補助 1名 令和5年9月終了予定

：定着支援継続

・特別養護老人ホーム補助員 1名

・日用品販売店員補助 2名

主な取り組みとしては、当事業所の就労移行支援から就労した方をメインに定着支援の必要性など説明し、当事者、保護者等へ確認後、関係機関と情報共有しながら契約を順次進めています。

現在のコロナ禍におきましては、訪問も限られていますので、電話連絡で確認し、関係性を保ちながら支援しています。

今後については、現在契約していただいている方々の就労継続はもちろんの事、新たに就労した方への定着支援を続け、定着率の向上を図っていききたいと思います。

令和 4 年度 はまゆう園生活介護恒富事業所 事業報告書

1. 事業概要

○生活介護

定員	40 名
現員	58 名
平均利用者数(1 日)	42.79 人
総利用者数(年間)	11,510 人

○短期入所

定員	6 名
契約者数	20 名
平均利用者数(1 日)	2.86 人
総利用者数(年間)	974 人

2. 基本方針(選ばれる事業所となる為の取り組み)

- ① 各利用者様の家庭状況や生活リズム、障害特性を考慮し、各利用者様・ご家族様にとって利用しやすい送迎時間や利用時間の確保。
- ② 法人のキャリアパス対応に基づいた研修を通じ、知識や技術を広げ各利用者様に安心・安全を感じて頂ける支援を行う。
- ③ 専門職(理学療法士又は作業療法士)によるリハビリテーションや看護師による健康管理を行い、各利用者様の身体機能・健康管理の維持に努める。

3. 具体的な対応や取り組み

- ① 送迎時間・送迎ルートの取り決めは行わず、各ご利用者様の希望時間に沿った送迎時間とした。その結果、迎えは8時10分～11時、送りは13時～17時10分と多岐に渡ったが、概ね各ご利用者様の希望時間に送迎でき、多くの感謝の言葉を頂けた。
- ② コロナウイルス感染症の影響で事業所外での研修は少なかったが、リモート研修や事業所内での研修を多く行った。特に人権研修や虐待防止研修は全職員を対象として行い、発達障がいの研修も多くの職員に受講させる事が出来た。又、日々のわからない支援についても朝終礼等を通して職員間で確認したり理学療法士や看護師の専門職の意見も確認しながら日々の支援を行う事が出来たが、利用者様への投薬ミス1件、車椅子からの転落1件の事故が発生し、苦情4件(利用者様支援に関わるもの3件、送迎に関するもの1件)もあった為、各利用者様・保護者様へご迷惑をかけた事案もあった。
- ③ 各ご利用者様・保護者様の意見を伺い、又、医師による指示箋に基づいたリハビリテーションを理学療法士が実施した。各ご利用者様からも高い満足度が聞かれているが、利用者様増加に伴い、リハビリテーションを希望する利用者様が26名となっており、各ご利用者様が希望するすべての曜日や時間で行う事で出来ていないのが現状である。健康面については利用者様の高齢化が進み、60～69歳が12名、70歳～79歳が7名、80歳が1名となっており日々様々な体調不良や病気を疑われる事案も出てきた為、看護師が専門的立場から家庭やグループホームと連絡を密に取りながら対応する事で事業所内での救急事案や病気や怪我の発生を未然に防ぐ事が出来ていた。

令和 4 年度 グループホームあけぼの荘 事業報告書

○ホームの概要

ホーム数 13 ホーム 定員 81 (現員 78 :男 49 女 29)

土地・建物	法人所有	定員 10=2棟	定員 7=3 棟
	賃貸物件	定員 5=3 棟	
		定員 5=5 棟	

利用者の主管行政区

延岡市	44	日向市	8	門川町	3	高千穂町	9
五ヶ瀬町	5	日之影町	1	美郷町	3	諸塚村	2
椎葉村	2	新富町	1				

利用者さんの日中活動状況

一般就労	養護老人ホーム若葉荘
	延岡地区環境整備事業協同組合
	日本 PCT 建設株式会社
	特別養護老人ホームひえいの郷
	障害者支援施設 もみじの里
	キーレックス石油
	旭化成アビリティ
	JA 延岡キャトルセンター
	延岡市役所
	イオン延岡
福祉事業所利用	はまゆう園多機能型生活介護
	はまゆう園生活介護恒富事業所
	はまゆう園多機能型就労継続B型
	はまゆう園多機能型恒富事業所就労継続B型
	はまゆう園多機能型恒富事業所就労移行
	その他の事業所

年齢・障害区分

年齢	男性	(20歳~80歳)	平均年齢 50.2歳	
	女性	(22歳~80歳)	平均年齢 55.2歳	
障害区分	知的(療育手帳)	70	身体(身体障害手帳)	2
	精神(精神手帳)	0	知的・身体	6
車椅子利用者	4			

支援スタッフ

所長	1	サービス管理責任者	3	支援員	17(内看護師4)
世話人	20	夜間支援員	10		

○支援報告

【地域と共に生きる障害者があるらしくいられることをサポートする】

年間を通して幾たびか利用者、職員ともに新型コロナウイルス罹患し、感染拡大の脅威にさらされながらも、職種を超えた連携で何とか乗り越えた 1 年であった。また、そのような 1 年のほとんどを自粛生活で過ごされた利用者の支援において、特に健康管理（運動不足や過食）や社会性の課題が山積であった。

【支援内容や設備、サービス内容等の変更について】

*利用者の健康管理ならびに職員の働き方改革の一環として、10 月から夕食について健康に留意した宅食サービスの活用を開始したが、健康的な食事内容ではあるものの、特に若い利用者からは評判が良くなかったため 3 月をもって終了した。

*11 月から職員に貸与している携帯電話をスマートフォンへ変更し、また、法人所有ホームにおいては、WiFi を設置することで、支援記録業務の場所を選ばない働き方の実現を図った。加えて 12 月からは支援記録クラウドシステム「ケアコラボ」を導入し、現行のサイボウズケース記録と併用しながら、さらなる業務効率化をはかる試みを行った。

*11 月から公用車として 7 名乗りのシエンタを導入した。

【実施した行事について】

昨年に引き続き、一堂に会しての春のお花見宴会、夏のお盆旅行、年末年始の旅行等は、実施できなかったが、コロナの感染状況が落ち着いた 9 月下旬から 12 月上旬においては面会や帰省、自由な買い物などの個人の余暇活動に加えて、ホームごとのドライブやクリスマス会、年越し・正月料理を楽しむ会や、県央方面への日帰りバス遠足の団体余暇活動を行うことができ、利用者のはじける笑顔の花が咲いた。

<その他>

- ・月 1 回の看護師による健康チェック
- ・年 3 回のホーム毎の防災訓練
- ・ヘルメット着用講習会と通勤訓練（個別）
- ・月 1 回の世話人報告研修会
- ・職員研修（人権擁護・防災・ヒヤリハット・リハビリ）等の委員会活動及び救急法講習会。

令和 4 年度 自立生活援助事業所クローバー 事業報告

昨年度に引き続き、同サービス利用者は 1 名に留まった。この利用者におかれては、災害時の避難場所等への不安や日中活動先までのアクセスの悪さなどを理由に、12 月に松原町から大瀬町へ引っ越しされた。ご本人は持病の糖尿病があるため、定期的な運動を兼ねて、多機能恒富事業所就労継続 B 型まで徒歩で通所され、また、食事バランスをとるために訪問看護やヘルパーと連携しながら、自立生活を送られるための支援を継続している。

令和 4 年度 のべおか障害者就業・生活支援センター 事業報告書

①年度末(令和5年3月末)時点の支援対象障害者数(登録者数)

登録者内訳	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
人数	81	191	222	20	514

②年度中に新規登録した支援対象障害者数

登録者内訳	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
人数	8	22	30	3	63

③支援対象障害者に対する相談・支援件数(内容別)

内容	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
就職相談	115	399	454	57	1,025
職場定着	40	253	148	34	475
生活相談	18	76	92	3	189
上記以外	8	26	44	3	81
合計	181	754	738	97	1,770

④職場実習のあっせん状況

登録者内訳	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
件数	4	22	23	2	51

⑤一般事業所への就職件数(1か月以上の雇用)

登録者内訳	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
件数	1	16	20	2	39

⑥事業主に対する相談・支援件数(内容別)

内容	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
雇入れ	20	183	141	49	393
職場定着	39	237	96	23	395
生活相談	4	8	5	2	19
雇用制度	0	0	0	2	2
合計	63	428	242	76	809

⑦関係機関との連携状況

項目	件数
個別支援事例に関する助言・支援	887
他機関が開催するケース会議への出席等	11
障害者雇用に関する一般的な相談	34
センターの登録者に関するケース会議やそれに関する打合せ等	33
他機関への支援依頼や紹介等	356
合計	1,321

⑧職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

- ・7/3(日) テーマ:ピアサポート活動 参加者7名
- ・10/1(土) テーマ:ストレスマネジメント 参加者3名
- ・12/17(土) テーマ:栄養と食生活 参加者9名

⑨研修等

- ・就業支援担当者研修 5/17(火)~20(金) ※オンラインにて1名受講
- ・主任就業支援担当者研修 7/13(水)~15(金) ※オンラインにて1名受講
- ・就業支援基礎研修 7/11(水)~12(火) ※宮崎ポリテクセンターにて1名受講
- ・就業支援実践研修(精神) 11/15(火) ※宮崎ポリテクセンターにて1名受講
- ・相談支援就業支援セミナー 12/10(土) ※オンラインにて1名受講

⑩総括

職場実習件数(本年度 51 件/前年度 34 件)は増加したが、就職件数(本年度 39 件/前年度 58 件)は減少した。就職に繋がらなかった場合は、就労継続支援や就労移行支援等に繋いだ。福祉サービス等基礎訓練への紹介件数は(本年度 104 件/前年度 34 件)と大幅に増加した。

行政、基幹相談支援センター、相談支援事業所、ハローワーク等と連携をとりながら、就業支援と生活支援を一体的に提供した。家庭問題・金銭問題等、生活に係る支援は幅広く、各種制度(年金・雇用保険等)を有効に活用し、身近な地域での自立を目指し総合的な支援を行った。関係機関と定期的に情報共有を図る事で、就業生活における自立を図ることが見込まれる支援対象者の情報を事前に把握するように努めた。関係機関との連携については(本年度 1,321 件/前年度 1,124 件)増加した。

登録者の内訳は、精神障がい者が最も多くなっている。就職に至るケースは多いが、逆に離職に至るケースも多かった。実際の定着率(就職して1年経過時点の在職率/センター実績)は、59.3%であった。他の障がい者の定着率は、おおよそ70%程度であった。定期的な職場訪問による面談や電話等で登録者の現状把握をし、悩みやトラブルが確認された際には、速やかに企業と連携をし、問題解決に努めた。

コロナ感染対策として、ZOOM 等のオンラインツールを活用した支援(ケース会議、面談等)、センター内の消毒・換気、来所面談の予約制を実施した。

地域の協議会(延岡市障がい者自立支援協議会や西臼杵障がい者自立支援協議会等)に関しては、積極的に参加した。また西臼杵地区においては、定期的(月2日)な巡回相談を実施した。

延岡市では、親亡き後の暮らし支援策として、地域生活支援拠点整備(緊急時の対応等)や多機能型拠点に関するプロジェクトも始まっている。今後の共生社会において当センターの役割も大きい為、地域機関として積極的に参加していく。

令和 4 年度 宮崎県障害児・者そだんサポートセンターはまゆう 事業報告書

【概要・実績】

計画相談支援

入所利用者 対象 94 名	更新 60 件 ・新規 0 名 ・モニタリング 139 件	計 199 件
GH利用者 対象 73 名	更新 40 件 ・新規 0 件 ・モニタリング 178 件	計 218 件
地域生活者 対象 80 名	更新 97 件 ・新規 8 件 ・モニタリング 244 件	計 349 件
児童 対象 57 名	更新 55 件 ・新規 10 件 ・モニタリング 108 件	計 173 件

療育等支援事業

訪問療育支援	397 件	職員等支援	199 件	研修	4 件	計 600 件
--------	-------	-------	-------	----	-----	---------

保育園・学校等訪問

保育所等訪問	16 件	学校訪問	75 件	計 91 件
--------	------	------	------	--------

職員体制

所長	1 名	相談支援員	3 名
----	-----	-------	-----

【報告】

相談事業に関しては、それぞれの相談員が計画的に業務を遂行したことで、ご家族、ご利用者様の意向に沿う形でのモニタリング報告や計画作成など、滞ることなく進める事が出来た。

但し、コロナの感染拡大や予防の為、家庭訪問、事業所訪問などが充分に行えないこともあった

療育等支援事業に関しては、契約を締結する講師の方々が、依頼を受けた事業所や対象となる方の支援を行なう事で、計画通りに取り組む事が出来たが、延岡市役所内の組織編成などの影響で保健師の数が少なくなり、保育園や幼稚園への訪問が、充分に行なうことが出来なかった。

しかし、今年度から「恵の聖母の家」と契約し、勤務されている松田光展医師と金曜日のみ活動を行なっているが、教育機関や保育園などからのニーズは高く、また個別の相談などにも応じていることで、地域の相談に対し、より専門的な技術的助言等が可能となった。

西臼杵地区に関しては、今年度からは「西臼杵こども・障がい者ネットワークセンター」が中心となって保育園や幼稚園、学校などを訪問して頂いているが、療育等支援事業を活用して、西臼杵地区の相談支援などは必要に応じて対応した。

令和 4 年度 延岡市西部地域基幹相談支援センター 事業報告書

○ 会議について

- ・ 延岡市基幹相談支援センター定例会議（障がい福祉課、北部、南部地域基幹相談支援センター）

令和4年度（12回 月1回の実施）

延岡市障がい福祉課を交え、基幹相談支援センターの月例報告やケース課題についての情報の共有

- ・ 西部地域基幹相談支援センター主催 研修会

11月・・・稲葉学園高等学校 梅木 仲彦様学校説明・講話

2月・・・そうだんサポートセンターはまゆう共催 「発達障がい児の理解」

- ・ 西部地域エリア懇談会

そうだんサポートセンターはまゆう、相談支援事業所は一と、相談支援事業所あるたす

相談支援事業所こころと。エリア内の4事業所と、勉強会の実施。（令和3年2月より継続）

内容・・・事例、相談支援専門員同士の情報の共有など。

○ 地域支援について

- ・ 「もちの木作業所」への定期訪問。親亡き後を見据えた支援。必要時に介入できる支援を検討
当施設「はまゆう園」へ短期入所へとつながった事例有り。また、地域（センター付近の住民との
交流等あり。

- ・ 地域の福祉機関以外の事業所（郵便局、スーパー、薬局）への啓発開始。

- ・ 西部地域の小中学校への訪問

「岡富小学校」「岡富中学校」「延岡小学校」「北方学園小中学校」「西階中学校」「南方小学校」「上南方小中学校」へ通う児童への支援。また、延岡しろやま支援学校地域コーディネーターと学校訪問。

「延岡星雲高校」「東小学校」「南小学校」「延岡工業高校」「延岡高校」「延岡商業高校」

「聖心ウルスラ学園」より ケース会や介入支援の依頼があり支援等おこなう。

- ・ 福祉サービスおよび相談支援専門員への繋ぎ

30件以上の事例を相談支援専門員へ繋ぎ、連携・サポートをする支援を実施。等

○ 成功事例

Kさん(難病 身体障害者手帳所持) 60代

地域に住んでいる父親より相談有。本人は以前愛知県豊橋市に住んでいたが、病気が発覚後に離婚し帰郷する。病気の進行とともに、気分障害を発症。入院歴もある。母親の作る食事やテイクアウトしてきた食事をほとんどとらず、ヘルパー利用もするが、なかなか口にする事もなかった。本人と話をする、「豊橋市」に帰りたい思いが強かった。豊橋市の関係機関と情報の共有をおこなう。また、担当の相談支援専門員と役割分担し、「豊橋市」で生活できる環境を整える。2年ほどの支援をおこなって、本人の希望通り、今春「豊橋市」へ転居となる。

○ 総括

少しずつ地域の皆様に「西部地域基幹相談支援センター」を知っていただけるようになった。相談件数も徐々に増え、地域の皆様、福祉サービス事業所の皆様、相談支援専門員の皆様も足を運んでもらえることが増えた。新型コロナウイルスの影響がありながらも、相談実績数も昨年度以上の相談件数となった。子供の支援では各地域の小中学校へも定期的に足を運び必要な相談や支援をおこなった。ゴミ屋敷の住居や生活困窮や多岐にわたる相談も多く、各関係機関との連携も増え顔見知りになる方々も増えた。引き続き、相談者の主訴を大事にしながらケースを進め、その人その人に大事な支援を行うことで、地域での生活のサポートをおこないたい。権利擁護に関する支援も徐々に増えてきており、延岡市・西臼杵権利擁護センターの関りも大事にしていきたい。昨年同様に職員のスキルアップにも力を入れ、どのようなケースでも対応できるようにしていきたい。今後とも、地域の相談の窓口として様々な相談に親身になって話を聞いていくこと(傾聴や共感)を大事にしながらか引き続き、基幹相談支援センターとして様々な啓発等の発信を行いたい。

令和4年度 主な設備事業関係

社会福祉法人 高和会

事業所/勘定科目	記 事		
障害者支援施設 はまゆう園 建 物 (基本財産) 建 物 器具及び備品	保健室引き戸取替工事	360,800 円	
	プレハブ倉庫(喫煙所)設置	209,000 円	
	スチームコンベクション(厨房)	1,760,000 円	
	インバーター発電機(災害対策用)	220,000 円	
	空調機取替工事(多機能B型作業所)	440,000 円	
	パシフィックシステム PCサーバー(福祉システム用)	632,202 円	
	製氷機(多機能B型作業所)	433,400 円	
	ガス衣類乾燥機(どリーむ棟)	222,200 円	
		3,707,802 円	
	ソフトウェア	パシフィックシステム(福祉システム/5年契約)	2,328,998 円
	障害者支援施設はまゆう園 固定資産取得費合計	6,606,600 円	
はまゆう園 多機能型恒富事業所 車輛運搬具 器具及び備品	トヨタ ハイエースバン	2,578,430 円	
	電話・インターネット設備交換工事	550,000 円	
	冷蔵庫(クッキー作業用)	132,880 円	
		はまゆう園多機能型恒富事業所 固定資産取得費合計	3,261,310 円
はまゆう園 生活介護恒富事業所 建 物 器具及び備品	喫煙所設置	174,900 円	
	油圧昇降ベッド(特浴用)	152,515 円	
	液晶テレビ	126,500 円	
		はまゆう園生活介護恒富事業所 固定資産取得費合計	453,915 円
グループホーム 車輛運搬具 器具及び備品	トヨタ シエンタ	2,928,350 円	
	パッケージエアコン新設工事(グループホーム事務所)	517,000 円	
		グループホーム固定資産取得費合計	3,445,350 円
宮崎県障害児・者そうだん サポートセンターはまゆう 器具及び備品	ルームエアコン新設工事	100,455 円	
	レーザー複写機	339,900 円	
	ノートPC(4台)	507,100 円	
		宮崎県障害児・者そうだんサポートセンターはまゆう 固定資産取得費合計	947,455 円
	法人合計固定資産取得費合計	14,714,630 円	
令和4年度 主な修繕事業関係			
	はまゆう園 / 渡り廊下屋根ポリカ波板張替工事	240,900 円	
	はまゆう園 / 居室壁修繕工事	256,300 円	
	はまゆう園 / リサイクル倉庫2Fシャッター修繕工事	236,500 円	
	はまゆう園 / 男子トイレ小便器配管スペース壁修繕工事	250,800 円	
	はまゆう園 / 2棟女子手洗い壁補修工事	158,400 円	
	はまゆう園 / どリーむ棟畳修繕工事	134,000 円	
	はまゆう園 / 防犯カメラ・電磁錠・インターホン修繕工事	308,000 円	
	はまゆう園 / 水没農作業機器修理(台風被害)	124,190 円	
	多機能恒富事業所 / トイレ壁補修工事	224,400 円	
	生活介護恒富事業所 / 特浴用薬液ポンプ修理	120,560 円	

